

採算性と原価・在庫の話

基礎コース

さまざまな日常業務の中で現場リーダーには、利益と採算のカラクリを理解し国内のみならず海外との企業競争に勝ち抜くため、モトを回収する技術と改善活動の計数評価力及び実践が求められています。本講座では採算性と原価計算をわかりやすく解説し、具体的演習により現場に役立つコスト感覚を身につけます。

対象 ものづくり現場リーダー
(中核人材)の皆様
経験年数5~10年程度

定員 35名

時間 9:30~16:30 6時間
(9:00から受付)

日程 2018年 7月 4日(木)

会場 岐阜工業高等専門学校
図書館 多目的ホール
あるいは ビデオルーム

※本研修には定規・電卓を持参ください。

研修後のフォローアップ

研修後、ご希望により、逆スクーリング制度（フォローアップ）を実施します。

講師が受講者の現場を訪問し、直接指導を行います。（有料）

講師紹介

奥野 泉

大手情報通信機メーカーで通信システム設計など広く技術分野の業務に従事後、営業畑に転向し岐阜支店マネージャー、系列会社中部支店長などを歴任し広範な実務経験とノウハウを持つ。技術・営業方面の実践的な仕事に精通し、技術思考に基づく営業・会計分野の見方、講義には定評がある。

プログラム

1. 原価をやさしく理解する

- 1 わかりやすい原価と利益及び儲けの話
- 2 付加価値会計と採算
- 3 モトの取れる販売個数の計算法
- 4 原価低減活動の本道

2. コスト意識を高める

- 1 押さえる利益とコストは2つ
- 2 ものづくりの標準的原価構造
- 3 現場コスト意識に目覚める
- 4 損益分岐点と売上高の計算

3. 原価計算をやってみよう

- 1 自分の1時間労務費と自部門賃率の計算
- 2 現場におけるコスト見える化
- 3 外注費でよくある問題

4. 見えない原価に気づく

- 1 なぜ在庫は嫌われるのか
- 2 現場における機会損失・機会費用・埋没費用
- 3 在庫改善の押さえどころ